

2010年 躍進平和の年にみんなで頑張ろう

沖縄の基地問題は国民の力で解決しなければ、本当の平和はこない。

名護市長選 (1/24 投票) に支援のカンパを！

(まずは事務局に電話を下さい)

いっそう平和について考え 行動する年に

代表理事 中山 弘子

新年あけましておめでとうございます。

昨年はオバマ大統領がプラハで「核兵器のない世界をめざす」と発言し、核廃絶にむけて世界が動くことと希望と期待で街頭署名行動に力が入りました。しかしアメリカのアフガニスタンへの兵力増強政策にガッカリ。オバマ政権には「世界の平和の一点でしっかりして」と言いたい。鳩山首相が国連総会で「核廃絶のために、現実的な一歩を踏み出せるかどうかの決定的に重要な時期」と演説。しかし沖縄の基地問題では揺れ動いて方針が出せない。私たちは唯一の被爆国として原爆の悲惨さを知っているだけでなく、戦争を二度と起こさない、と憲法に明記した国です。鳩山政権は非核三原則を堅持し「非核の日本」と安全な国をつくる責任があります。

昨年末に読んだ「北の反戦地主川瀬汎二の生涯」の中に村上国治さんが川瀬さんの思いを詩にしています。「矢白別、わしらがひらいた土地 私はここに居たいのです となりへ1キロ学校へ16キロ 頭上とびかうロケット砲弾 ほこりまき上げる数千の車両 やつらがだまし取った2万町歩 そのまん中でうごかぬ2戸の農家…」56年間矢白別演習場の中でくらし、空から見えるようにとハウスの屋根に「自衛隊は憲法違反」そして「憲法条文」を書き、国とたたかい平和を訴え続けた川瀬さん。力強く大地に根をはった人間の魂を感じました。平和は与えられるものではありません。憲法9条が実践される時代をつくり出したいと思います。今、アメリカも日本政府も世界の人々の声に揺れ動いています。「核兵器のない世界を」の運動を大きくすることがNPT再検討会議の前進につながり、平和な世界

へとつながる情勢です。今年はより一層平和について学び考え、行動する年にしたいと思います。

* 「北の反戦地主川瀬汎二の生涯」 布施祐仁著 (平和新聞編集責任者)

国民が主人公の政治を

代表理事 植田 金雄

明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、お元気で新年を迎えられたことを心からお喜び申し上げます。

昨年四月、アメリカ大統領がプラハで核兵器のない平和な世界を願った演説がありました。このことは世界の各国をはじめ日本でも平和を守る人々に追風となり、現在すすめられている署名運動が急ピッチで展開されています。

昨年八月の国民総選挙では自公政権が後退して新しく民主連立政権が誕生することとなりました。しかし国民、特に沖縄県民の願いである普天間基地撤去は新年にもち越されてしまいました。

また、駐留米軍及びその家族へのオモイヤリ予算やら軍備予算の削減もなく、新年度予算として九十二兆円と言う過去にない大型予算が計上されました。

また、新年は日米安保条約改定五十年にあたります。安保条約締結が存在する限り、日本に基地がなくならないことを強くアピールし、基地のない平和日本、日本国憲法第九条を生かした活動を推進していきたいと切に願う次第であります。

更には国民生活の向上と貧困と格差のない安心して生活の出来る安全な社会をめざして、一日も早く「国民が主人公となる政治」が実現するまでがんばろうではありませんか。

オバマさんよ！
みんな言っているよ
核兵器なんていらなくて！

鳩山さん！沖縄の人の心わ
かってやろうよ
基地なんかいらなくて、
アメリカに言えば、それで
カタがつくんだから



歓迎!! 新入会員のみなさんです

ともに平和の声を大きく広めていきましょう。

- 高沢 里美さん (美和市)
- 山口 正一さん (美和市)
- 鈴木 春幸さん (東海村)
- 岩本 敏幸さん (美浦市)
- 土屋 一隆さん (美浦市)
- 小川 矩弘さん (荖崎市)

亀・牛・かたつむりが歩むように、各平和委員会のみなさん1人1人の力で今年も毎月5名の仲間づくりができれば最高です。

平和かわら版

No. 552

平和新聞茨城版

2009.1/5

発行：茨城県平和委員会

〒310-0912 水戸市見川5-127-281

Tel/Fax 029-251-2806

E-mail ibahei@amber.plala.or.jp



基地はいらない。 平和の証を確かなものにするために 沖縄名護市長選に支援カンパをお願いします

人口6万弱の小さな街。いま、沖縄・日本・アメリカを揺るがす名護市長選挙の火蓋が切って落とされました。沖縄基地問題を大きく左右する市長選挙は1月24日投票で行われます。基地をなくし憲法を活かす2010年たたかいの第1弾です。この勝敗は両陣営にとって決定的な意味を持っており双方必死です。

辺野古の新基地建設容認の現職・自公推薦の島袋吉和氏と基地建設反対の統一候補・稲嶺ススム氏の一騎打ちです。名護市民は普天間基地の辺野古移転問題が起こってから13年間、基地受け入れの賛否というだけでなく、10年間に1000億円の沖縄県北振興費という「アメとムチ」の間で翻弄されてきました。

私たちは名護市の選挙民に「戦争のための基地はいらない」という平和な日本の良心の証を示して、勝利し、基地問題に決着をつけて欲しいと思います。

同時に「小指の痛みは全身の痛み」として私たちも連帯支援を広げていきます。この市長選の勝利は、名護市だけでなく沖縄・日本の平和にとって、また基地をなくし真のアメリカとの

平和友好にとっても意義深いものがあります。

会員のみなさん

これまで平和委員会は常任理事会で平和・基地問題での首長選挙（無所属・統一候補者）については役員対応や各平和委員会に訴え出来る限り支援をしていました。昨年の岩国市長選挙では15万円、横須賀市長選挙では5万円。13年前の名護市民投票では黒砂糖販売で10万円と現地に応援にいけない分、カンパで支援してきました。今回は会員のみなさんに訴え、沖縄基地問題を私たちの問題として受け止め支援していただくようお願いする次第です。

30日の理事会では間に合わないので緊急措置として各平和委員会（平和の会）や会員各位の事務局への電話連絡をお願いします。（送金は後日で結構です）

TEL・FAX： 029-251-2806

（事務局長 伊達）

意見広告のご賛同ありがとうございました。

昨年12月8日付、朝日新聞県内版に意見広告「子供たちのために、核兵器のない世界を」を掲載することができました。個人賛同1222名・1269口（去年は1236名・1270口）、116団体・133口（去年は98団体・107口）のご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

内容については、全体として「よかったのではないか」「カラーだったら目立ったのになあ」という評価をうけました。一方おみやや平和の会の大曾根さんからは、「平和委員会の意見広告としては、今の普天間基地の撤去をメインにしてほしかった。」という貴重な意見もいただきました。これからも皆さんの考えを活かしていきたいと思っています。

県平和委員会第3回理事会のお知らせ

とき：1月30日（土）午後2時～5時

ところ：水戸市民会館

- 議題：① 昨年秋の運動のまとめ
② 県大会までの取り組みについて
③ 県大会の日時等について
④ その他

* 理事会終了後、場所をかえて、ささやかな新年の交流会を行います。（自由参加）

茨城の平和運動の原点

2010. 百里初午まつりで平和を語ろう！

今年も2月11日、百里平和公園で初午まつりがおこなわれます。また、1ヶ月後の3月11日には「軍民共用化」茨城空港が、税金のムダづかいの象徴として開港します。怒りをこめて参加しましょう。茨城の平和運動は初午まつりから毎年はじまります。寒風で気も体も引き締めお神酒を酌み交わし平和のこころを誓い合しましょう。

目下、百里基地反対連絡協議会（反対同盟・百里弁護団・平和委員会・農民連・平和擁護県民会議・共産党・社民党で1978年つくられた統一組織）で準備を進めています。24日には朝から公園の草刈をします。手伝っていただける方はご連絡ください。また、出店されるところは事務局まで連絡ください。

